Qualys Cloud Platform (VM, PC) 10.x

リリースノート

バージョン 10.23.1

2023 年 8 月 25 日

Qualys クラウド プラットフォーム (VM、PC)の新リリースでは、Vulnerability Management と Policy Compliance の機能強化が含まれています。

Qualys Vulnerability Management (VM)

First-Party Risk Management: Custom Vulnerabilities (QIDs)

Qualys Policy Compliance (PC/SCAP/SCA)

新しい認証テクノロジのサポート

Qualys 10.23.1 では、さらに多くの改善と更新が実施されました。詳細はこちらをご覧ください。

新着情報

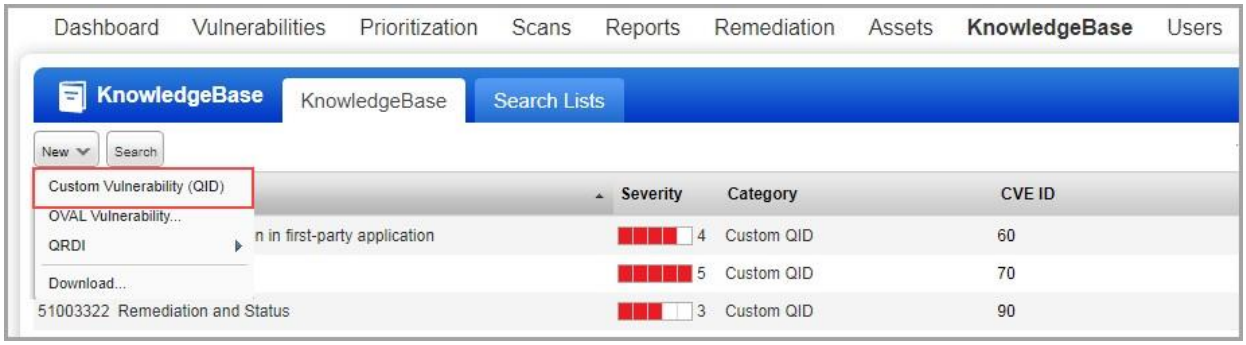
First-Party Risk Management: Custom Vulnerabilities (QIDs)

組織は、社内で開発されビジネスを運営するために使用されるソフトウェアであるファーストパーティソフトウェアを使用します。セキュリティチームは、攻撃対象領域が絶えず変化するため、ファーストパーティアプリケーションの保護において大きな課題に直面しています。

このリリースでは、ファーストパーティおよびオープンソースソフトウェアの潜在的なリスクを特定できるようになりました。Qualys VMDR で独自の検出および修復スクリプトを作成することでカスタムの脆弱性を定義し、環境内のすべての脆弱性の包括的な概要を取得できるようになりました。スクリプトは、VMDR で PowerShell や Python などの一般的に使用される言語を使用して作成できます。脆弱性は、スクリプトで定義されたロジックに基づいて検出されます。カスタム脆弱性を定義する場合、脆弱性タイプ、重大度レベル、QID タイプなどのさまざまなパラメータを指定する必要があります。これらの脆弱性は、QID と共にナレッジベースに保存されます。
カテゴリを**カスタム QID** として表示し、検出用の標準の脆弱性と同じ方法で使用できます。
この機能の詳細については、オンラインヘルプ:カスタム QID の作成とカスタム QID の検索を参照してください。

前提条件

- この機能を使用するには、アカウントで脆弱性管理スキャン処理 (VMSP)が有効になっている | 必要があります。詳細については、Qualys サポートにお問い合わせください。
- この機能をサポートするには、バージョン 1.8.0.0 以降の Qualys CAR アプリケーションが必要です。さらに、カスタム QID は、ホスト リスト検出 API の一部として使用できます。
  API の詳細については、Qualys VM-PC API ガイドに関するページを参照してください。



新しい認証テクノロジのサポート

このリリースでは、スキャナーを使用したポリシー準拠認証スキャン用に次のテクノロジが追加されました。

- IBM DB2 z/OS 13.x
- VMware vCenter Server Appliance 8.x
- VMware ESXi 8.x

詳細については、 Authentication Technologies Matrix をご参照下さい。

対処された問題

このリリースでは、次の問題が修正されています。

- アセット・タグを使用してスキャンへホストを追加する際に、「Add Tags to Include」ダイアログ・ボックスの最後に Show more リンクが表示されましたが、リンクをクリックしても、追加タグは表示されませんでした。この問題は修正されました。
- Scans タブ (VM) で、2 文字の検索文字列を使用すると無関係な検索結果がフェッチされる問題を修正しました。
- レポート作成 API を使用して生成されたレポートテンプレートに関連する問題を修正しました。以前は、テンプレートに Threat、Impact、および Solution 列が含まれていない場合でも、それらはレポートに追加されていました。
- API 呼び出し要求で 910 を超える QID が渡された場合、エンド ユーザーが API 応答でエラー メッセージを受け取る問題を修正しました。この問題は、既存の GET メソッドとともに POST を使用した API 呼び出しを提供することで修正されました。
- スキャナー アプライアンスのハートビート チェック通知の機能に関するクエリには、その仕組を理解するための詳細な説明を追加することで対処しました。詳細については、オンラインヘルプ: Scanner Appliance Heartbeat Check Notification を参照してください。
- Scan list API 呼び出しで & が &amp として表示される問題を修正しました。
- Asset Tag Scoping が有効になっている場合、コンプライアンスレポートにサブユーザーのすべてのアセットのデータが表示されず 、アセットタグでレポートが起動される問題を修正しました。
- 内部エラー (999) が原因で Ignore Vuln API が失敗する問題を修正しました。
- Host List Detection API レスポンスで、EC2 メタデータ属性であるインスタンスタイプが欠落していた問題を修正しました。これを修正するには、インスタンスタイプを host_metadata_fields に追加することをお勧めします。
- 例外が発生するたびに重要なデータがログファイルに出力されるスタックトレースリークの問題を修正しました。
- OS レベルと DB レベルの認証の両方が成功した場合でも、ホストでカスタム コントロール CID 100044 が失敗する問題を修正しました。
- Host List Detection API 応答に、要求呼び出しで除外されたアセットタグに関連付けられたアセットが含まれ問題を修正しました。
- 要求呼び出しで 'show_result' パラメーターが 0 に設定されているにもかかわらず、ホスト リスト検出 API 応答に QID 結果セクションが含まれている問題を修正しました。
- オプション プロファイルのドロップダウンがアルファベット順に並べ替えられなかった問題を修正しました。
- Host List Detection API、Schedule Report、Asset Host List API、および EC2 scheduled scan でデータをフェッチできなかった問題を修正しました。